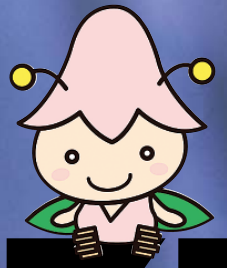


Nishiaizu



10 | 広報にしあいづ

October. 2017 (平成 29 年) No.708

町最高齢
長寿の横綱

107 歳

—三瓶ヨノさん(山浦)—

もくじ — Contents —

P 2 薄友喜町長所信表明

P 4 健康と長寿を祝う 平成 29 年度 町敬老会

P 6 地域と共にある学校を目指して 地域学校協働活動事業

P 8 地震発生 そのとき —地震から身を守るために—

P 10 まちの話題

野沢祭礼、ゲートボール原町チームが全日本選手権出場 ほか

P 12 町からのお知らせ&ニュース

ふるさとまつり開催告知、9月町議会定例会報告、農業委員会の新体制、秋の行政・人権相談 ほか



町政の新たな担い手、薄町長が目指す「西会津の明日」は――

薄 友喜 町長 所 信 表 明

7 月9日に行われた町長選挙において、町民の皆様をはじめ各方面からのご支援を賜り、町政を担当することになりました。誠に光栄の至りであり、私に課せられた使命と責任の重大さを痛感し、あらためて身の引き締まる思いです。

私は、前回の選挙戦後から町内をくまなく歩き、多くの町民の皆様の生の声に耳を傾けてきました。その中で、少子高齢化や老後の福祉問題、中山間地域の現状、経済や雇用情勢の低迷、農業を取り巻く厳しい状況など、町の現状

と将来に焦燥感を覚えるとともに、元気で活気のある町に、安心して暮らせる町にしてほしいという町民の皆様切実な思いを強く肌身で感じたところでです。

本町の最大の課題は、何といても「人口減少」です。この人口減少に歯止めをかけるため、これまでの内向きの町政運営から転換し、外に向かつて大胆な発想により、将来に夢と希望の持てるまちづくりに取り組みむことが、私の最大の責務であると考えています。そのために、私が長年培ってきた行政経験と人脈を最大限に活用し、公約の実現に向け取り組んでいく覚悟です。そして、何よりも町民の皆様と真摯に向き合い、「町民が主役のまちづくり」を目指してまいります。

「誠実で責任ある行政」「正確で結果を出す町政」「紳士的で信頼される町長」を信条に、公平・公正な町政運営を実践し、活気ある「ふるさと・西会津町」を取り戻すため、本気で汗をかきます。

薄町政が掲げる5つの基本政策

次世代を担う人材の育成と確保

教育による人づくりが、未来への投資となり、持続的に発展する西会津町を創り出す。保育料や学校給食の無料化によって子育て環境のさらなる充実を図るとともに、海外体験留学制度や独自の奨学金制度を創設し、次世代を担う人材の育成と確保、さらには、若い世代の移住や定住を促進していきます。また、まちづくりには若者や女性の力が欠かせません。若者の発想力や行動力、情報発信力、そして女性ならではの視点やコミュニケーション力、気配りといった、それぞれの優れた能力や感性を大切にし、まちづくりに積極的に登用していきます。

若者の夢を実現できる仕組みづくり

人口減少に歯止めをかけるには、当然ながら働く場所を確保しなければなりません。既存企業を支援し雇用の拡大を図るとともに、新たな産業の創出や起業を支援する基金の創設、空き家を最大限に活用した施策を展開し、若者が夢を実現できる仕組みづくりに取り組んでいきます。

安心して暮らせる老後の振興

かつて本町は「百歳への挑戦」をスローガンに、保健・医療・福祉を連携させたトータルケアのまちづくりで日本一の福祉の町を目指し、それが現在の福祉施策の基礎と

農林業と商工観光の振興

本町の基幹産業は農業です。食味コンクールで世界一になった米をはじめ、ミネラル野菜や菌床キノコといった町内産の農林産物のブランド化を強力に進めるとともに、

を呼び込める観光地づくりに全力で取り組んでいきます。

ICTのまちづくり

本町には都市部と変わらない情報通信環境が整っていますが、まだまだ不十分です。これからますます情報が進む中、日本一の情報通信環境を整備し、「ICT」の活用による新たな産業の創出と人口の流入を目指していきます。



健康と長寿を祝う



▲米寿記念品を受け取る山口さん



▲喜寿記念品を受け取る船橋さん



▲金婚夫婦代表の片平夫妻



▲園児の皆さんによる遊戯



▲雅喜会による日本舞踊



▲大声会による民謡



▲荒海與志男さんによる歌謡浪曲



▲會士館の皆さんによる空手



写真＝野沢・尾野本地区の敬老会から

ますます健康で、幸せな人生を

地区の団体の皆さんなどが歌や踊り、空手を披露しました。出演者の発表が終わると、出席者の皆さんは笑顔で拍手を送り、楽しく和やかなひとときを過ごしました。

敬老会の最後には、会場全員で万歳三唱し、来年の敬老会で元気に再会することを誓い合いました。

式

典の最後には恒例の余興が行われ、こゆりこども園の園児や、地区の団体の皆さんなどが歌や踊り、空手を披露しました。出演者の発表が終わると、出席者の皆さんは笑顔で拍手を送り、楽しく和やかなひとときを過ごしました。

式典の最後には、招待者を代表して望月勝雄さん（西林）が「元気に75歳を迎えられたことは、この上ない喜びです。活気あふれる西会津町となるよう、これからもできる限りお手伝いをさせていただきたいと思えます」と謝辞を述べました。

平勝典さん、和子さん夫妻（10町内）には、福島民報社と県老人クラブ連合会から表彰状と記念品が贈られ、式典の最後には、招待者を代表して望月勝雄さん（西林）が「元気に75歳を迎えられたことは、この上ない喜びです。活気あふれる西会津町となるよう、これからもできる限りお手伝いをさせていただきたいと思えます」と謝辞を述べました。

野 沢・尾野本地区の式典では、薄町長が「元気な皆さんとお会いすることができうれしいです。今日は楽しいひとときを過ごし、心に残る一日にしてください」とあいさつした後、喜寿の代表・船橋チ子さん（9町内1）と、米寿の代表・山口榮さん（森野）に記念品を贈りました。続いて金婚夫婦の代表・片平勝典さん、和子さん夫妻（10町内）には、福島民報社と県老人クラブ連合会から表彰状と記念品が贈られ、式典の最後には、招待者を代表して望月勝雄さん（西林）が「元気に75歳を迎えられたことは、この上ない喜びです。活気あふれる西会津町となるよう、これからもできる限りお手伝いをさせていただきたいと思えます」と謝辞を述べました。

なりました。

野

澤・尾野本地区の式典では、薄町長が「元気な皆さんとお会いすることができうれしいです。今日は楽しいひとときを過ごし、心に残る一日にしてください」とあいさつした後、喜寿の代表・船橋チ子さん（9町内1）と、米寿の代表・山口榮さん（森野）に記念品を贈りました。続いて金婚夫婦の代表・片平勝典さん、和子さん夫妻（10町内）には、福島民報社と県老人クラブ連合会から表彰状と記念品が贈られ、式典の最後には、招待者を代表して望月勝雄さん（西林）が「元気に75歳を迎えられたことは、この上ない喜びです。活気あふれる西会津町となるよう、これからもできる限りお手伝いをさせていただきたいと思えます」と謝辞を述べました。

9

月9日に群岡・新郷地区、10日に野沢・尾野本地区、17日に奥川地区で敬老会が開かれ、長年にわたり社会の発展に尽くされた皆さんの長寿を祝いました。本年度は、75歳以上の1,815人が招待され、出席した皆さんは、いずれの会場でも久しぶりに再会した仲間と昔話や思い出話に花を咲かせていました。現在、町の100歳以上の高齢者は11人で、今年の長寿者番付では、町最高齢の三瓶ヨノさん（山浦）が107歳で昨年に引き続き横綱となりました。



↑ 謝辞を述べる望月勝雄さん

平成29年度 敬老会

本年度から、町で「地域学校協働活動事業」が始まりました。未来を担う子どもたちが心豊かに成長できるよう、私たちにできることがあります。これからの学校と地域の協働体制のあり方について、一緒に考え、取り組んでみませんか。

地域と共にある 学校を目指して

―地域学校協働活動事業―

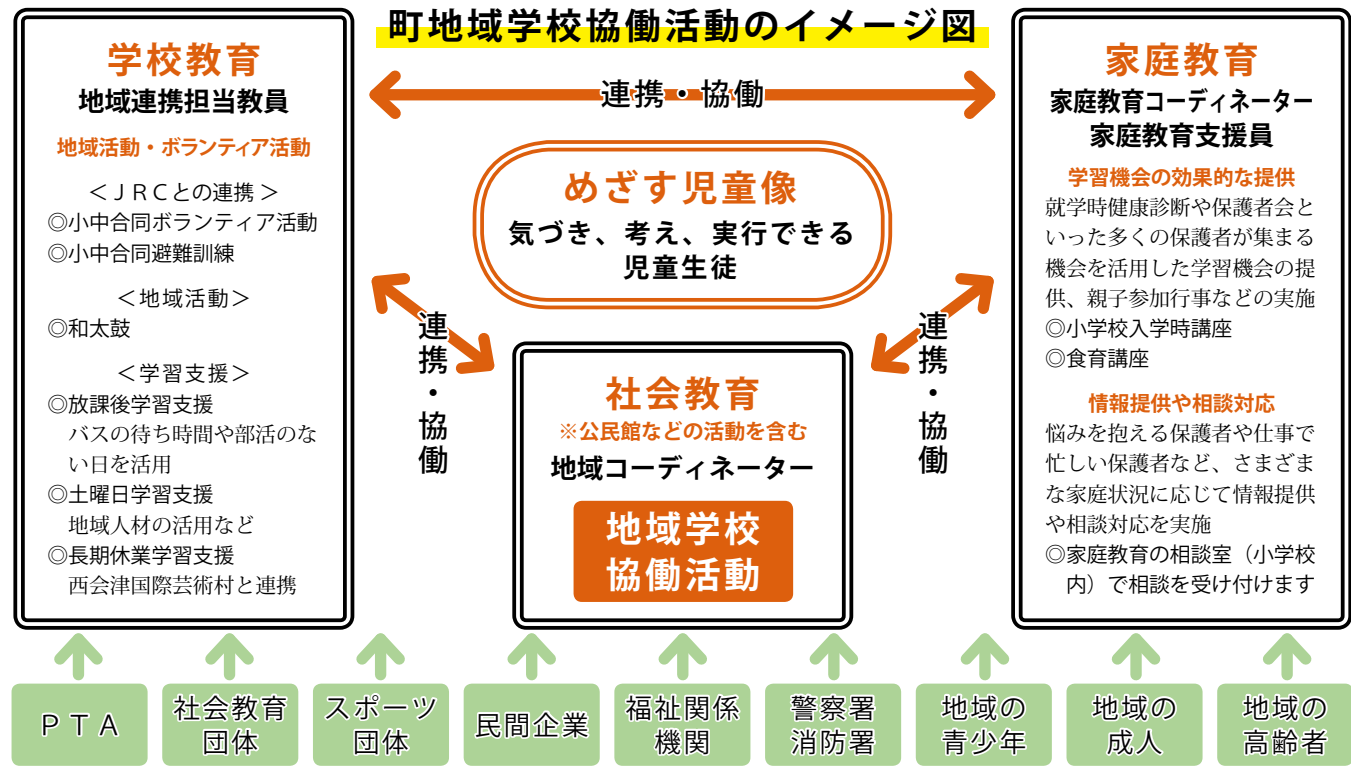
**なぜ今
「地域と学校の協働」
が必要なのか**

昨今の急激な少子高齢化やグローバル化の進展に伴い社会環境が大きく変化する中、全国的に教育力の低下や家庭の孤立化といった問題が指摘されています。また、教育現場では、いじめや不登校、貧困などの問題が複雑化・困難化しており、今、地域と学校が連携・協働して地域全体で子どもたちの成長を支える仕組みが必要となっています。

そこで、県教育委員会では新たに「地域学校協働活動事業」を開始し、国見町、大玉村、天栄村、西郷村、双葉町、川内村、榊葉町、そして西会津町の8町村をモデル地区に指定しました。

「地域学校協働活動事業」とは？

地域学校協働活動事業は、保護者や先生だけでなく、地域の大人や民間企業、団体なども含めた地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活



動です。「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働しながら、さまざまな取り組みを行います。町では、①子どもたちによる地域活動・ボランティア活動、②放課後などを利用した子どもたちへの学習支援、③家庭教育支援に取り組んでいます。事業の実施にあたっては、地域の窓口である「地域コーディネーター」と、学校に配置された「地域連携担当教員」、そして家庭教育の窓口となる「家庭教育コーディネーター」が連携して活動を行います。

コーディネーターの活動

地域コーディネーターⅡ地域の支援ニーズを把握し、学校との連携・協働体制の確立や住民と保護者間の連絡・調整、そして地域のボランティアの確保などを行います。
地域連携担当教員Ⅱ中学校の教諭が担当します。地域と

小・中学校が連携する取り組みの企画・運営を行います。また、教職員の多忙化を解消し、子どもと向き合う時間の確保を目指します。
家庭教育コーディネーターと家庭教育支援員Ⅱ家庭教育相談の実施、保護者への学習機会の提供などを行います。

これまでの活動

町では、これまでに夏季休業中の学習支援を西会津小で6回、西会津中で3回実施しました。元教職員や、教育に関心のある人、絵画クラブの会員など総勢25人が、5教科や絵画の指導に熱心に取り組まれました。

また、地域活動の一つとして、中学生による「創作和太鼓」にも取り組んでおり、地域の経験者や外部講師から指導を受けています。10月28日に「西会津ふるさとまつり」で演奏を披露するため、一生懸命練習しており、和太鼓の演奏による地域活性化を目指しています。

大人と関わり 社会を学び、 地域も学校も元気に！

10月には、小中地域合同ボランティアを実施します。これまでの「学校支援」から発展し、「地域と学校が相互に連携・協働して行う活動」の一つとして、地域の清掃や花植え、お年寄りの自宅訪問などをを行います。また、放課後の学習支援や教育相談なども実施する予定です。
信頼できる大人とたくさん関わり、さまざまな活動をする中で、子どもたちは心豊かに育ち、同時に社会について学びます。さらに、地域も

子どもたちの活動によって気づき、それまでにはなかった「地域のつながり」が生まれます。
みんなで子どもを育てるといふこと

学校だけではなく、保護者やPTAを含む地域社会と学校が一体となって子どもを育てるには、地域のみなさんの力が必要です。子どもたちのためにできることを一緒に考え、行動してみませんか。そして、「地域とともにある学校」をつくり、みんなでより良い西会津町にしていきましょう。



止した階で外に出ましょう。
 万一閉じ込められてしまった場合は、非常ボタンやインターホンで外部と連絡を取り、救助を待ちましょう。

デパートやスーパーにいたら
 柱や壁際に身を寄せ、手荷物で頭を守りましょう。商品の落下やショーケースの転倒、ガラスの破片に注意しましょう。また、みんなで同時に出口に殺到すると、パニック状態に陥ることがあり大変危険です。店員などの指示に従って行動しましょう。

地下街にいたら
 地下街は比較的安全だといわれています。慌てて外に逃げるのではなく、大きな柱や壁に身を寄せ、揺れが収まるのを待ちましょう。地下街には、約60分おきに出口があります。照明が消えてしまっても落ち着いて行動しましょう。

火災が発生した場合は、ハンカチなどで鼻と口を覆い、身を低くして壁伝いに地上に向かいましょう。

学校にいたら
 先生や校内放送の指示に従いましょう。

教室にいるときに揺れ出したら、すぐ机の下に潜り、机の脚をしっかり持ちましょう。揺れが収まったら、本棚や窓から離れ、安全な場所に移動しましょう。

路上にいたら
 手荷物などで頭を守りながら、広場などへ移動しましょう。

繁華街などにいる場合は、ビルの窓ガラスや看板といった落下物に注意し、住宅街にいる場合はブロック塀や門柱から離れましょう。自動販売機などが倒れてくることもあります。

電車やバスの中にいたら
 緊急停車の衝撃に備え、吊り革や手すりにしっかりとつかまりましょう。また、網棚から物が落ちてくる場合がありますので、手荷物で頭を保護しましょう。

車の運転中だったら
 急ブレーキは事故のもとです。徐々にスピードを落として道路の左側に停止し、エンジンを切りましょう。揺れが収まるまでは外に出ず、カーラジオなどで情報を確認しましょう。



地震発生、そのとき。

もしも大地震が起きたら。そのとき、寝ていたら？エレベーターの中にいたら？誰かと一緒だったら？突然、強烈な揺れに襲われたとき、あなたはどうしますか。地震がいつ、どこで起きるかは、誰にも分かりません。落ち着いて正しく行動するためには、日ごろからの心掛けと事前の対策が重要です。「そのとき」に、確実に身の安全を確保できるよう、地震対策について知っておきましょう。

写真＝地震車で大きな揺れを体験する西会津小の児童の皆さん



家の中に潜む危険

地震による人的被害の多くは、倒れた家具や落下物などによる負傷です。普段何気なく使っている家具も、地震のときには凶器に変わってしまいかも知れません。また、いざ避難しようとしたときに、倒れた家具が出口を塞ぎ閉じ込められてしまう場合もあります。家具を固定したり、高いところに物を置かないようの安全対策が、いざというときに身を守ります。

家具の少ないスペースをつくる
 家族が家具の転倒や落下を避けて集まることでできる家具のない（少ない）安全なスペースを確保しておきましょう。

寝室には大きな家具を置かない
 就寝中に倒れた家具の下敷きになってしまわないよう、寝室にはなるべく家具を置かないようにしましょう。

避難通路を確保する
 安全に避難できるよう、玄関などの出入り口につながる通路に

こんな場所で地震が起きたら

地震は、自宅にいるときに起こるとはかぎりません。身の安全を守るためには、さまざまな場所に応じた注意点を覚えておくことが大切です。

エレベーターの中にいたら
 閉じ込められないよう外に出しましょう。最近のエレベーターは地震の揺れを感知すると自動的に近くの階に停止するようになっていますが、もしも自動で停止しない場合は全ての階のボタンを押し、停

地震の際の町指定避難場所

う。また、車を離れる際は、緊急車両の通行の妨げにならないよう配慮しましょう。貴重品は持ち出し、鍵は付けたまま、ドアはロックしないようにしましょう。

海岸や崖の近くにいたら
 海岸にいる場合は、津波が来る可能性があるためすぐに高台や近くの高い建物、指定の避難場所に避難しましょう。

崖の近くにいる場合は、足場が崩れたり、土砂に巻き込まれたりする危険性があるのですぐに離れましょう。

避難のポイント
 揺れが収まったら：

- ◆避難する前にもう一度火元を確認しましょう。ガスは元栓を閉め、電気はブレーカーを落としましょう。
- ◆高齢者や子どもは手を握って誘導しましょう。
- ◆できるだけ近所の人たちと集団で避難しましょう。
- ◆避難場所に移動する際は、狭い道や塀のそば、川べりなどの危険箇所は避けて通

は、倒れやすい家具などを置かないようにしましょう。
重いものを下に、軽いものを上に
 家具に物を収納する際は、重いものを下に、軽いものを上に収納し、重心を安定させ、転倒を防ぎましょう。テレビなどの重い家電製品やガラス製品を高いところに置くと、重心が安定しない上に、万一落下した場合に大きなけがにつながる可能性があります。

大きな地震の際は次の施設が指定の避難場所となります。交通渋滞や混乱を避けるため、近くにいる場合はなるべく徒歩で移動しましょう。

- ◆西会津小学校
- ◆西会津中学校
- ◆旧西会津小学校
- ◆旧芝草保育所
- ◆老人憩の家
- ◆林業研修センター
- ◆さゆり公園
- ◆すばく西会津
- ◆道の駅にしあいづ

問い合わせ先
 町民税務課・町民生活係
 ☎ 45・2215



ゲートボール 県大会を制し全国大会へ
原町チームが全日本選手権に出場

9月13日、原町チームが文部科学大臣杯「第33回全日本ゲートボール選手権大会」への出場を薄町長に報告するため町役場を訪れました。主将の大堀一衛さんは「自然体で楽しむ気持ちで大会に臨みたい」と話し、薄町長は「普段の力を発揮し頑張ってきてください」と選手の皆さんに声援を送り、激励金を手渡しました。大会は9月23日、24日に北海道芽室町で行われました。



戦没者の安らかな眠りを願い追悼式
恒久平和への誓い新たに

町では、8月31日に戦没者追悼式を行いました。参列者全員で黙とうを捧げた後、薄町長が式辞を述べ、続いて武藤道廣町議会議長、小谷尚克会津保健福祉事務所長、耶麻遺族連合会の橋谷田征喜会長、さらには町遺族会を代表して三瓶鐵江さんが追悼の辞を述べました。最後には参列者全員で献花を行い、戦没者の安らかな眠りを願うとともに、恒久平和への誓いを新たにしました。



町長旗争奪野球大会 野沢地区が優勝
町長旗懸け4チームが熱戦

8月20日、町長旗争奪野球大会が福島ホープス西会津球場で開かれ、町内5地区から野沢、尾野本、群岡、奥川の4チームが出場し、熱戦を繰り広げました。試合はトーナメント方式で行われ、白熱した試合展開に会場は大いに盛り上がりました。決勝戦では野沢地区と尾野本地区が対戦し、熱戦の末、野沢地区が昨年に引き続き町長旗を手に入れました。



福島ホープス公式戦の振替試合2連戦
福島ホープスの勝利に沸く

9月5日、6日に福島ホープス公式戦の振替試合が福島ホープス西会津球場で行われ、福島ホープスは初日に群馬ダイヤモンドペガサス、2日目に富山GRNサンダーバズと対戦し、2連勝を収めました。初日に岸本竜之輔選手が放った満塁本塁打をはじめ、走者一掃の三塁打や、岩村監督の代打出場など、2日間にわたり会場は大いに盛り上がりました。



五穀豊穡、商売繁盛を願い
野沢祭礼 活気あふれる

秋の訪れを告げる諏方・熊野両神社の祭礼が9月16日から18日の3日間にわたり行われ、五穀豊穡、商売繁盛を願う山車や神輿が勇壮にまちなかを練り歩きました。17日に行われた野沢町内3地区の神輿運行では、第1地区、第2地区、第3地区それぞれの大人神輿や子ども神輿が力強くまちなかを練り歩き、「わっしょい、わっしょい」という威勢の良い掛け声は日暮れまで響きました。また、祭礼中は野沢中央通りに露店が軒を連ね、焼きそばやたこ焼きなどを求める多くの家族連れなどでにぎわい、野沢の町は活気であふれました。

昨年約50年ぶりに復活した祭礼
奥川・金蔵寺で大聖歓喜天祭礼

8月18日、今年も奥川・金蔵寺で大聖歓喜天祭礼が開かれました。当日は、大聖歓喜天が祀られている拝殿の開帳に合わせて、千手観音と「おんぼ様」が安置されている観音堂も開帳され、あいにくの雨天にもかかわらず町内外から約100人が参拝に訪れました。大聖歓喜天は、古くから「極入のお聖天様」として耶麻郡一帯や新潟県などで広く信仰されています。



出戸地区で約500年守り継がれる祭礼
「岩屋まつり」参拝客でにぎわう

9月13日に「いでと岩屋まつり」が開かれ、県内外から訪れた70人を超える参拝者が、出戸集落から杉並木の参道や105段の石段を30分ほど登り歩き、町重要文化財の木造虚空蔵菩薩坐像などが祀られている岩窟堂を目指しました。出戸地区では、虚空蔵尊建屋の修復や参道の刈り払いなどを行いながら、集落一丸となって約500年続く伝統を守り継いでいます。





今年のふるさとまつりは10月28日、29日です



10月25日(水)から
展示部門がプレオープン!

第32回を数える秋の恒例イベント・西会津の文化と産業祭「西会津ふるさとまつり」を10月28日、29日の日程で開催します。

恒例の「桐ゲタ投げ全国大会」や「紅葉ウォーク」、「グリーンステージ」のほか、町内産米のおいしさと魅力を発信する「米フェス」、町内菓子店の自慢のスイーツを堪能できる「至福のスイーツマウンテン」、熱気球に搭乗できる「熱気球体験コーナー」など、今年も楽しいイベントが目白押しです。

ミネラル野菜をはじめとした町内産農林産物と加工品の販売や、西会津の秋の味覚が味わえる「農家レストラン」、さらには町内外からさまざまなグルメが出店コーナーに集結するなど「食」も充実しています。

西会津ふるさとまつりにぜひご来場ください。

グリーンステージ ▶▶▶▶▶
渡辺俊美や音速ライン、ひとりぼっち秀吉 BAND も出演決定！
詳細は町ホームページでチェック！



- 10月28日(土)**
- 9:00 ~ オープニングセレモニー
 - 11:00 ~ 宇宙戦隊キュウレンジャーショー (観覧無料)
 - 11:45 ~ 民俗芸能と民謡の集い
 - 13:15 ~ 宇宙戦隊キュウレンジャーショー (観覧無料)
 - 14:00 ~ さゆりジャズ with 渡辺俊美
- 10月29日(日)**
- 9:00 ~ 福島ホープス野球教室
 - 9:30 ~ 紅葉ウォーク
(共催：第10回いきいき健康ウォーク in 西会津)
 - 10:00 ~ 丞神デナーショー
 - 11:00 ~ 米フェス 第2回日本一うまい！新米早食い大会
 - 12:00 ~ 福島ホープス ファン感謝祭
 - 13:00 ~ 丞神デナーショー
 - 13:30 ~ 第20回桐ゲタ投げ全国大会
 - 14:30 ~ 西会津ふるさと大抽選会
- 両日開催**
- 10:00 ~ グリーンステージ
 - 10:00 ~ チビッココーナー
 - 10:00 ~ 至福のスイーツマウンテン **New!!**
 - 10:00 ~ 熱気球体験コーナー **New!!**
 - 10:00 ~ 米フェス ごはん食堂 **New!!**
- ※詳しくは配布されるチラシをご覧ください
- <問い合わせ先>**
町ふるさと振興推進委員会事務局
☎ 45-2213 (商工観光課)

9月町議会定例会報告

9月8日から15日までを会期に開かれた平成29年第5回町議会定例会では、条例の一部改正や平成28年度決算の認定、平成29年度補正予算など、町政が当面する重要な議案32件が審議されました。

町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項報告から

地域連携販売力強化施設
ミネラル野菜の家
オープン1周年の状況

道の駅にしいあいづは、交流物産館よりつせに加え、昨年8月2日にオープンした「地域連携販売力強化施設・ミネラル野菜の家」や本年5月26日に供用開始となった国の情報提供施設との相乗効果により、「ミネラル野菜の家」のオープンから1年間の来訪者数が前年同期比1.35倍の55万人を超え、売り上げ実績も1.26倍となっています。

今後は、来訪者数100万人を目指し、イベントなどの開催で集客を図り、さらに利用者にも満足してもらえる施設となるよう努めていきます。

町内スポーツ施設を活用した交流人口の拡大

本町のさゆり公園やその周辺施設には、夏休み期間中、県内外から多くの利用者が訪れ、その数は年々増加しています。特に、水泳、野球については競技力強化のための合宿や練習が行われ、8月には慶應義塾体育会・野球部の夏期合宿がさゆり公園野球場で行われました。町としては、



このような有名校の誘致を契機に、周辺施設の充実と受け入れ態勢の強化を図り、各種競技の合宿などの誘致拡大を推進していきます。

横町館跡の発掘調査

本年度で2年目となる発掘調査は、8月29日をもって全ての現場作業が終了しました。発掘により出土した遺物は少ないものの、柱穴や堀跡など、多くの遺構が検出されました。

今後は、今回の調査結果を十分に検証し、報告書として取りまとめ、横町館跡の状況

可決された議案

- を後世に継承していきます。
- ◆町個人情報保護条例及び町情報公開条例の一部改正
 - ◆個人情報保護の保護に関する法律の一部改正に伴う条例の一部改正
 - ◆平成28年度決算の認定
 - ◆平成28年度一般会計決算に関する決議(議案)
 - ◆平成29年度一般会計補正予算(第2次) Ⅱ普通地方交付税の決定や平成28年度繰越金の確定に加え、会津13市町村が一体で行う木質バイオマスによる再生可能エネルギー導入計画策定事業、林道面倉線の法面工事などのため、2億6,140万2,000円を増額
 - ◆平成29年度特別会計補正予算Ⅱ平成28年度繰越金の確定に加え、事業実施に伴う所要の経費を計上
 - ◆役場新庁舎改修等工事請負契約の変更契約Ⅱ床下の修繕や消防法に基づく防火用金具の付け替えなど、新たに必要となった工事のため契約額を1,562万6,520円増の5億8,806万7,560円に変更
 - ◆財産の取得Ⅱ西会津診療所及び群岡診療所で使用している「臨床検査システム」及び「医用画像情報システム」並びに西会津診療所で使用している「生化学自動分析装置」「内視鏡検査装置」の更新と、町消防団第3分団に配備されている消防ポンプ自動車の更新
 - ◆町特別功労表彰者の決定への同意Ⅱ五十嵐幸一さん(下小屋)、伊藤豊さん(2町内)
 - ◆地方創生拠点整備交付金事業菌床培養施設整備工事請負契約の締結Ⅱ西林の旧葉タバコ育苗施設を菌床培養施設に改修
 - ◆町雪室貯蔵施設条例の一部改正(平成29年第4回定例会議案・経済常任委員会付託事件)

否決された議案

- ◆町雪室貯蔵施設条例の一部改正(平成29年第4回定例会議案・経済常任委員会付託事件)



農業委員会が新体制に

農家人口の減少と高齢化に伴い、耕作放棄地や遊休農地が全国的に急増する中、担い手への農地利用の集積・集約化や、遊休農地の発生防止と解消、新規参入の促進による農地利用の効率化および高度化などを農業委員会の必須事務とするよう、平成28年4月1日に農業委員会法が改

正されました。新制度では、農業委員の選出方法が市町村議会の同意を要件とする市町村長の任命制に統一されたほか、原則として委員の過半数を認定農業者とし、また、農業者以外に中立的な立場で公正な判断をすることができるとする委員を1人以上置き、さらには

青年や女性の登用も進めていくことになっていきます。加えて、旧制度の農業委員会の機能が「委員会としての決定行為」と「各委員の地域での活動」の2つに分けられることから、それぞれが的確に機能できるよう、現場活動を積極的に進める農地等の利用の最適化を強く推進する「農地利用最適化推進委員」を新たに設置し、農業委員と連携して取り組む体制を整備していくことになりました。

この改正を受け、町では旧制度の農業委員の任期が終了した本年7月20日、認定農業者7人を含む12人に農業委員の辞令を交付しました。また、同日に開かれた第1回農業委員会総会では、町内5地区から新たに設置される農地利用最適化推進委員11人が、農業者の推薦などにより選出され、8月1日に農業委員会から委嘱状が交付されました。今月号では、新たな体制となった農業委員会の皆さんを紹介します。

新たな委員の顔ぶれ



農業委員
佐藤 武雄さん
新郷地区および町全域
◎認定農業者、農業委員1期



農業委員
渡部 定衛さん
尾野本地区および町全域
◎認定農業者



農地利用最適化推進委員
三留 智篤さん
野沢地区



農地利用最適化推進委員
佐藤 教男さん
群岡地区



農業委員
佐藤 時男さん
奥川地区および町全域
◎認定農業者



農業委員
高橋 正人さん
野沢地区および町全域



農地利用最適化推進委員
斎藤 克彦さん
野沢地区
◎認定農業者



農地利用最適化推進委員
須藤 富夫さん
新郷地区



農業委員
波田野 和信さん
奥川地区および町全域
◎認定農業者



農業委員
佐藤 健一さん
新郷地区および町全域
◎中立委員



農地利用最適化推進委員
杉原 徳夫さん
尾野本地区



農地利用最適化推進委員
山口 幸平さん
新郷地区



農業委員
三留 良司さん
尾野本地区および町全域
◎認定農業者



農業委員
佐藤 正光さん
尾野本地区および町全域
◎認定農業者、農業委員2期



農地利用最適化推進委員
三留 弘法さん
尾野本地区
◎認定農業者、農業委員1期



農地利用最適化推進委員
三瓶 常夫さん
奥川地区
◎農業委員1期



農業委員
星 敬介さん
群岡地区および町全域



農業委員会 会長職務代理者
江川 新壽さん
群岡地区および町全域
◎農業委員3期



農地利用最適化推進委員
安部 廣さん
尾野本地区



農地利用最適化推進委員
長谷川 勝雄さん
奥川地区



農業委員
江川 政次さん
野沢地区および町全域



農業委員会 会長
佐藤 忠正さん
群岡地区および町全域
◎認定農業者、農業委員3期



農地利用最適化推進委員
長谷川 辰男さん
群岡地区

※農業委員および農地利用最適化推進委員の任期は、平成32年7月19日までです。

問い合わせ先
農業委員会事務局 ☎45・4531



適・塩・野・菜・料・理
「豚しゃぶのおろしポン酢」



材料 (2人分) = 豚ロースしゃぶしゃぶ用 60g、おろししょうが 2g、野菜 80g (モヤシやキャベツなど自宅にあるものでOK)、下ゆで用のだし適量、油小さじ½【おろしポン酢】大根おろし 60g、レモン汁少々、酢・しょう油・だし汁各 1ml

作り方 = ①野菜を食べやすい大きさに切り、だしで硬めにゆでる。②豚肉におろししょうがをまぶし、①のだしでゆでる。③フライパンに油を熱し、豚肉をさっと炒めて取り出し、野菜も炒める。④大根おろしの水気を切り、調味料を混ぜておろしポン酢を作る。⑤皿に野菜、肉、おろしポン酢の順に盛り付ければ完成。

毎日の食事に『減塩』と『野菜1皿』の意識をプラス

栄養調査から分かった塩分の取り過ぎと野菜不足

昨年9月に行った町の栄養調査の結果から、本町における1日当たりの塩分摂取量の平均値は国が示す基準値より多く、野菜摂取量の平均値は、国が示す摂取目標に達していないことが分かりました。減塩や野菜の摂取が体に良い影響を与えることは分かっていますが、意識しないとなかなか続けられませんか。この機会に自分の健康意識を見直してみませんか。

栄養調査の結果

町の栄養調査の対象は20歳以上の男女で、昨年の調査では293名の皆さんにご協力いただきました。

調査の結果、本町における1日当たりの食塩摂取量の平均値は、男性が12・7g、女性が8g未満、女性7g未満の目標値を大きく上回っていることが分かりました。この基準値以上に塩分を摂取していた人の割合は、男性84・2%、女性84・4%にも上り、特に、高齢になるほど塩分の多い食事を取りがちな傾向にあることが分かりました。

また、野菜摂取量の平均値は274gで、こちらは国が示す目標値である350gに達していないことが分かりました。野菜摂取量が350g

減塩と野菜摂取の利点

日本人の場合、高血圧症の9割ほどが食塩を控えることによって改善するといわれています。まずは減塩を意識すること、これが健康習慣につながります。

また、野菜には体の機能を円滑に働かせるために必要なビタミンやミネラルが含まれています。さらに、コレステロールを排出するなど整腸作用のある食物繊維も豊富なので、野菜を意識して食べることは、生活習慣病の予防・改善にもつながります。野菜に

調理のポイント

① **素材本来の味を楽しむ** 旬の新鮮な食材を使いましょう。旬の食材は栄養価も高くなります。また、肉や魚の煮物も、煮干しやかつお節、昆布などのうま味を利用することでおいしく減塩できます。

② **酸味や香味を利用する** 酢やレモンの酸味、こしょうやからしなどの辛み、ハーブなどの香りで味にメリハリを付けると、少ない塩分で満足感を得ることができます。

※家族みんなで長く続けられるようにすることが一番のポイントです。

秋の行政相談・人権相談を行います

10月16日～22日は「行政相談週間」です。町では、特設行政相談所を開設し、役所や特殊法人などの仕事に対する苦情、意見や要望を受け付け解決のお手伝いをします。

また、併せて特設人権相談所を開設し、人権問題に関する相談などに応じます。

相談は無料で
秘密は堅く守られます。この機会にご相談ください。



- ◆日時・会場
- 10月18日(水)
 - 午前9時30分～正午 新郷連絡所
 - 午後1時～3時30分 奥川みらい交流館
 - 10月19日(木)
 - 午前9時30分～正午 保健センター
 - 午後1時～3時30分 町公民館
- ◆行政相談委員 田崎 宗作さん(小杉山)
- ◆人権擁護委員 長谷川孝志さん(森野)
嶋田 純子さん(下野尻)
長谷川成博さん(梨平)
- <問い合わせ先>
- 総務課・行政管理係(行政相談) ☎ 45-2211
町民税務課・町民生活係(人権相談) ☎ 45-2215

戸籍の窓口 [8月受付分]

まちの人口 (9月1日現在)

		(前月比)
人口	6,623人	(-7人)
男	3,200人	(±0人)
女	3,423人	(-7人)
世帯	2,700世帯	(-3世帯)

お誕生おめでとう

中田陽彩ちゃん 聡・菜津美 7町内

ご結婚おめでとう

清野琢麻 下小島
江花未里 会津坂下町

お悔やみ申し上げます

中山トヨ (79)	安弘 母	1町内
篠原久 (99)	信哉 母	10町内
田部勇作 (89)	薫 父	西平
佐藤富雄 (88)	郁男 父	出ヶ原
佐藤民子 (92)	義昭 姉	上野尻
薄フミ (90)	藤一 妻	平明
五十嵐三紀子 (66)	市郎 姉	滝坂
佐藤シズイ (90)	英夫 母	杉山
佐藤弘 (72)	小椋淑孝 父	新町
山内哲造 (86)	正二 父	弥平四郎

有料広告欄 [詳細は広告主に問い合わせください]





After

田部 悠大 さん [中町]

井上 慎人さん (9月号) からメッセージ
これからもよろしくお願ひします。

趣味は？

スポーツ。見るのもやるのも好き
です

熱中していることは？

西会津うまいもん探し

自分を一言で表現するとしたら？

笑顔

あなたのモットーは？

好きこそものの上手なれ

町民 パトンタッチ

特技は？

柔道。3段です

最近感動したことは？

地域の人に名前を覚えてもらった

これからやってみたいことは？

キャンプセットを揃えてキャンプ
をしたい

次の方を紹介してください

S・Sさん (5町内)



▲おのもと競輪 (尾野本地区)



▲綱引き (野沢地区)



▲一升瓶友の会 (群岡地区)



▲縄ないリレー (新郷地区)



▲あなたと2人青春リレー (奥川地区)

秋晴れの下、各地区で 町民体育祭

9月3日、町内5地区で町民体育祭を開催し
ました。近年は天候に恵まれず、中止が続いた地区
もありましたが、今年は見事な秋晴れとなり、青空の下、地
区ごとにさまざまな競技を通して親睦を深めました。



野沢地区親善大運動会

3年ぶりの開催となった第
56回野沢地区親善大運動会に
は、14チーム約400人が参
加しました。今回から会場が
西会津中学校第1グラウンド
となり、整備されたトラック
に参加者も一段と気合が入っ
たようでした。

- 優勝 6町内
- 第2位 堀越・芹沼・塩喰
- 第3位 牧、10町内

尾野本地区町民運動会

第40回尾野本地区町民運動
会はさゆり公園多目的広場で
開かれ、10チーム約300人

が参加しました。今大会から
自転車のリム(ホイールの一
部)を手に持った棒で転がす
「おのもと競輪」が始まり、
各チームは悪戦苦闘しながら
大会を盛り上げていました。

- 優勝 縄沢
- 第2位 菅本
- 第3位 下小島

群岡地区体育祭

群岡運動場で開かれた第50
回群岡地区体育祭には6チ
ム約230名が参加し、恒例
の「大声大会」や今回が初め
となる「一升瓶友の会」な
どの12種目で競いました。ま
た、今回で最後となる「縄な
いリレー」では、地区の大先
輩が縄をあっという間に編ん
でいき、見事な手さばきで観
客を感心させていました。

- 優勝 上野尻C
- 第2位 宝川
- 第3位 下野尻・端村

新郷地区町民体育祭

第52回新郷地区町民体育祭

は新郷運動場で開催され、4
チーム約120人が参加しま
した。「輪投げ競走」や「綱
引き合戦」など8種目で熱戦
を繰り広げ、「縄ないリレー」
では昨年を113センチメー
トルも上回る記録が出まし
た。どのチームも1人で何役
もこなすなど、チーム一丸と
なって健闘しました。

- 優勝 富士B
- 第2位 笹川B
- 第3位 三河A

奥川地区町民体育祭

第49回奥川地区町民体育祭
は奥川運動場を会場に9チ
ム約200人が参加しまし
た。「これはたまげタズー」
や「あなたと2人青春リレー」
など一風変わった種目がある
のも奥川ならではです。勝敗
の行方は最終種目の「男女混
合300歳リレー」までもつ
れ込み、最後まで目が離せな
い大会となりました。

- 優勝 塩
- 第2位 新町
- 第3位 向原



聞いて！ わたしの夢

3年 文化部 部長
薄上 冬花 さん

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自
分が思い描く夢や目標を話してもらっています。

わたしの夢——

「私は動物が好きなので、将来は動物に関係す
る職業に就きたいと思っています。小さなころ
から猫を飼っていたので、自然と動物に興味を
持ち、好きになりました。具体的な職業は決ま
っていませんが、動物を助ける仕事に就きた
いと思っています」

努力していること——

「動物に優しく接することを心掛けています。
動物は言葉を話せないで、小さな変化やしく
さなどで健康かどうかをしっかり分かるように
したいです」

未来の自分に一言——

「仕事で苦勞することもあると思いますが、
大変なことがあっても頑張ってください」



Before

宝物は？『4〜5歳ごろ
の写真。あの頃は「かわ
い、かわいい」といわ
れていたが今は……。左側
が私、隣は兄です』

町民 ギャラリー

今日は、フォトクラブどんぐり
高橋 政二 さんの作品です。

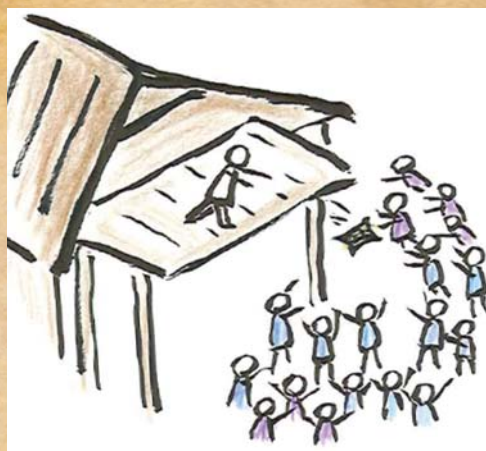


作品名『ふるさとの夕日』
作品介绍『ひと冬に何度もない、冬山に夕日が
映える日。待っていたチャンスが訪れ、日没
の20分後くらいに撮影しました』



野沢初市と俵引き

野沢宿の始まりは野沢原町村が駅所になった元和6年（1620）ごろで、野沢本町村が駅所になった文化3年（1806）に両村が一つになって野沢宿ができました。越後街道3大宿場（津川・坂下・野沢）の一つで大きさでは3番目でした。野沢原町村は寛永3年（1626）蒲生家から『六齋市』^{ろくさいいち}（3と8の付く日に開く月6回の市）を開くことが許されます。野沢原町村の12km四方では別の市を開くことはできませんが、野沢本町村は近かったためか駅所になる以前にも野沢原町村と同じように市は開かれていたようです。近郷近在の人々が穀類のほか、春は切干しや山菜、秋は松茸や栗茸などを、越後の商人が海産物などを持ち寄り大いににぎわいました。また、会津若松や会津坂下の商人が地元で販売する材料を仕入れる所でもあったようです。寛文5年（1666）ごろには両村とも市の回数は次第に減るようになりましたが、正月13日には市始めの式として村の者全員が上下に分かれて俵を引き争い、これを『米引き』と称して市神様のお祭りを行っていました。当時、両村では別々に行っていたようですが、弘化4年（1847）ごろには両村が一緒に『俵引き』をするようになったようです。日清戦争の前あたりまでは小柴米屋（現ふるさと自慢館、元は五十嵐^{いけだん}検断宅）の屋根から米俵を落として原町と本町の二手に分かれて「米俵」を引き合いました。この俵引きの様子は残念ながら記録に残っていませんが、昭和5年ごろに喜多方市小荒井で行われていた俵引きでは、人の上に人を重ね頭上を踏み渡り、立ち上る氣息と喚声は壯観の極みであったそうです。野沢の俵引きも同様だったのではないのでしょうか。



▲「俵引き」の想像図（絵：田崎敬修さん）



▲ふるさと自慢館



朝晩めっきり涼しくなり、秋の訪れを感じる今日この頃です。秋といえば「ふるさとまつり」。お知らせにも掲載しましたが、今年は10月28日、29日です。ぜひ遊びに来てくださいね。長谷川祐一

編集後記



▲一緒に出席した親族の皆さんと。左は娘の矢部ミキ子さん、右は孫の妻の三瓶志津子さんと玄孫（やしやご）の菅山陽向汰（ひなた）くん。

今月の表紙は、町最高齢の三瓶ヨノさん。9月17日に行われた「奥川地区敬老会」に出席した三瓶さんは、久しぶりに再会した友人と楽しくおしゃべりしたり、料理をおいしそうに味わったりと、107歳とは思えない元気な姿を見せ、会場の皆さんを驚かせていました。

今月の表紙